

### 第三者評価結果

事業所名：藤沢市立柄沢保育園

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a

<コメント>

・藤沢市保育所における全体的な計画を基に、保育所の理念・方針に基づき、単年度の園目標・今年の保育を策定している。各担任は年間や月の保育計画を策定し、月次のクラス会議や各種会議を通じて評価や反省を行い、次期計画に活かすようにしている。また、様々な意見を得るために会議以外の場でも積極的に意見交換を行うようにしている。これらの計画は事務室に掲示され、全体で共有できるようにしている。

・今年度から3～5歳児クラスの保育となることを踏まえ、近隣保育園との交流、地域交流、世代間交流などの機会を持ち、子どもたちが社会経験を得られるように取り組んでいる。近隣の保育園との交流を通じて、特に年長児は小さな子どもたちがいることに配慮し、ルールや気配りを学ぶ姿が見られている。

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a

<コメント>

・柄沢保育園ならではの石垣のぼりや園庭が2つあることを利用し、広い空間でのびのびと遊ぶ姿が見られている。

・保育室は、子どもたちの興味や発達に応じた適切な玩具、遊びのコーナーづくりなどを行い、子どもたちが心地よく過ごせる環境を整えている。ジョイントマットのスペースでは、ゆったりと落ち着いて遊ぶことができ、また、刺激に敏感な子どもが安心してできるように、机を壁際に配置したり、個人の座る場所を決めて自分の空間で落ち着けるように工夫をしている。部屋のL字形状を活かし、遊び場を区切ったり、運動遊びなどで広い場所を必要とするときは、ホールや別の保育室も活用することができる。衛生管理にも気を配り、午睡時の明るさや室温の調節、エアコンの適切な使用などを行い、快適な環境づくりに努めている。

<p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
--	---

<コメント>

・入園面接時に子どもの発達状況や家庭環境を詳しく聞き取り把握できるようにしており、周知が必要な場合は会議で共有し子どもの状態に応じた保育を行っている。また、保護者との連絡を密に取りながら進め、必要な情報は共有するようにしている。

・子どもたちの感情や考えを尊重し、彼らの表現を受け入れられる環境を整えることを重視している。人権年間計画に基づき、子どもたちが自己や他者を大切にすることを育むための取り組みを行っている。子どもたちが理解しやすいように「すてきななかま」という歌を作成し、誕生会やクラス内で歌ったり、「ふわふわちくちく言葉」について話し合う機会を設けている。職員は保育の手引きやeラーニング研修を通じて、子どもたちに合った声かけや関わり方を日々振り返っている。

<p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
--	---

<コメント>

・藤沢市の保健指針に基づき、保健や食育に関する集会を定期的実施し、子どもたちが生活習慣の大切さを理解することができるよう援助している。日々の保育においては、子ども一人ひとりの発達に合わせて、着替えや食事、片付けなど基本的な生活習慣を自然に身につけられるよう、声をかけながら一緒に行うようにしている。子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重した援助に努めており、自分のものや場所を識別しやすいように個人のマークを活用したり、玩具の写真を棚に示し片付けしやすいような工夫もある。生活の流れを文字とイラストで掲示し、視覚的に理解できるように配慮も行っている。

・保護者との連絡はおたより帳を活用し、体調や生活状況に関する情報の把握に努め、子どもたちが無理なく活動できるよう配慮している。

<p>【A5】 A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・幼児園庭には石垣のぼりや活発な運動ができる環境を整え、ホールではリズム遊びや巧技台を設置して体を動かす機会を提供している。夏季にはプール、水遊びなども計画し、季節ならではの遊びを楽しむ、中庭では年間を通して植物の育成を行い、水やりから収穫までの体験を通して子どもたちに植物への関心を促している。          ・保育室では、玩具の配置は子どもたちが利用しやすいように工夫し、発達段階に応じた遊びを提供している。遊びを発展させていけるよう子どもの遊びに耳を傾けて必要な玩具や素材を用意したり、夏祭りや運動会などの行事を通じて、子どもたちの成長と共同活動の楽しさを感じることができるように援助している。          ・地域在住の高齢者や近隣保育所との交流など、地域との親密な関係を築くための交流にも力を入れている。</p>	
<p>【A6】 A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	c
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>閉園に向けて段階的に受け入れを停止しているため対象児童なし</p>	
<p>【A7】 A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	c
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>閉園に向けて段階的に受け入れを停止しているため対象児童なし</p>	
<p>【A8】 A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・4月の会議では、各担任がクラスの運営や大切にしたいことを発表し、全員が共通の認識のもとで活動を進めることができるよう取り組んでいる。用務員の方と一緒に種をまき、生長を楽しみ、収穫し食べる楽しみを共有することができおり、例えば、オクラの種取り時に黒くなっていることを発見したり、自然から興味を引き出す様子が見られている。夏のプール遊びでは、自分で着替えや準備を行おうとする意欲が育まれている。4歳児クラスでは、子どもたちの発言や興味を大切に、段ボールを解体して自分たちの家を作り始めるなど、遊びを発展させて目標に向かって作り上げることに取り組んでいる。          ・園だより『からさわだより』を月1回発行しており、園内の取り組みや保育の様子、行事の内容などを知らせている。また、年間を通じて子どもたちが育むべき10の姿を掲示しており、これについては年に3回、各クラスで詳細を開示し、写真を交えて分かりやすく伝えている。</p>	
<p>【A9】 A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・特別な配慮が必要な子どもの保育にあたっては、個別支援計画や記録を作成し、期ごとに目標を設定して、子ども一人ひとりに合わせた環境設定や援助に関する検討を行っている。クラスノートには担任が不在でも、誰でも理解できるように、細かく子どもの様子が記録されており、園全体で子どもの育ちを支えていく体制が整っている。さらに、発達支援部会や地域のグループ園での意見交換の機会も設けられている。          ・子どもに対する援助は自然な形で行われており、子ども同士の関わり合いにおいては必要に応じて仲立ちしている。活動に参加できない場合には無理強いをせず、個別の対応や声かけを通じて、落ち着いて過ごせるよう援助している。藤沢市子ども家庭課の発達支援担当冊子を設置し、利用できるようにしているほか、就学に関する相談や支援教育についての案内を提供し、保護者が安心して利用できるよう支援している。</p>	

<p>【A10】 A-1-(2)-⑨ それぞれの子ども<sup>の</sup>の在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の保育の連続性や体調管理、リズムにも細やかな配慮をしており、週明けなどは特に配慮をし、子どもたちの声に耳を傾けるよう心がけている。例えば、横になりたい、眠いなどの声を発する場合、絵本を読んだりしてゆったりと過ごせるように環境を整えている。長時間過ごす場合には、合同保育のホールにはジョイントマットを敷いたり、遊びのコーナーを作り、子どもたちが落ち着いて好きな遊びを楽しめるよう工夫している。延長保育時間では、補食としておせんべいと麦茶の提供があり、家庭的な雰囲気<sup>を</sup>を大切に、子どもたちが安心して過ごせるよう配慮している。</li> <li>・タ<sup>の</sup>方の引継ぎでは、その日の体調や遊びの様子を細かく伝え、翌日に体調を確認したり、子どもが継続して遊びを楽しんだりできるように配慮している。また、クラスノートにも詳細に記入して情報を共有できるようにしている。</li> </ul>	
<p>【A11】 A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画の中に小学校との連携が位置付けられており、年間計画や月案に具体的な活動内容を落とし込んでいる。小学校との連携だけでなく、近隣の保育園や避難場所である中学校とも防災訓練などで交流を持つようにしている。近隣の小学校からは秋祭りに招待があり、交流が計画されている。さらに、年度後半には校内見学の予定もある。</li> <li>・小学校入学までに身につけておきたいことについては、懇談会を通じて保護者に伝えているほか、生活習慣や新しい環境への不安なども保護者と共有し、個人面談でも保護者の疑問や不安に対応できるよう努めている。また、小学校のイメージを持てるよう、教科書や絵本を活用して子どもたちが一年生になる姿をイメージできるような取り組みを行っている。</li> </ul>	
<p>A-1-(3) 健康管理</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健計画では、健康な身体と心を育てるために、期ごとにそれぞれの目標を設定し、集会や活動を通して子どもたちが自分の体や健康に関心を持ち、病気やケガなどを予防できるように取り組んでいる。例えば、歯磨き指導に関しては、絵本を使ってわかりやすく歯磨きの重要性を伝え、トイレのスリッパの並べ方ではお手本を見せたり、テープで分かりやすく示したりしている。また、健康管理に重点を置いた様々な取り組みが行われており、乳幼児の健康記録や予防接種歴などを提出してもらい、懇談会でも共有することで、子どもたちの健康情報を把握している。</li> <li>・子どもの体調管理に配慮し、睡眠時の呼吸チェックやケガの記録を職員がタイムリーに記録している。さらに、SIDS（乳幼児突然死症候群）についての情報を保護者に提供し、職員全員が強化月間の実施案内を確認するなど、健康管理に関する情報提供と意識啓発に取り組んでいる。救命講習の受講内容についても園内に掲示し、保護者に伝えている。</li> </ul>	
<p>【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯と口の健康週間では、絵本の読み聞かせや歯の役割・大切さについて伝え、歯科健診後には、虫歯予防に向けたうがいや歯磨きの重要性を伝える集会を行っている。これらの活動の様子は月1回発行している「からさわだより」にて写真を通じて保護者にも共有している。また、歯科健診の結果に基づいて、よく見られる症状や歯科医師からのアドバイスを写真とともに掲示し、保護者に情報提供を行っている。</li> <li>・保育室の空きスペースを活用し、「親子で取り組むむし歯予防」というテーマで、歯科衛生士を招いた保護者向けの教室を開催し地域の方も参加できるようにしている。視力検査も早期発見と治療を目指し実施しており、事前に問診票を配布し提出してもらい、個別に必要な受診については保護者に伝えている。</li> </ul>	
<p>【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「藤沢市立保育園食物アレルギー対応の手引き」に基づき、医師の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」の提出を依頼している。入園時だけでなく医師の判断に応じて見直し時期に保護者、園長、調理員、担任でアレルギー面談を行い、現在の体調や通院の状況、園での対応の仕方などを確認している。毎月、アレルギー対応献立表を保護者に提出し、園長と担任が確認を行っている。提供の際は、成分表を見ながら職員と調理員の複数で確認し、アレルギー児の名前と除去食材を明記した個別のお盆に乗せて行っている。また、食器を色違いにすることで、視覚的にも分かりやすくしている。</li> <li>・誤食が起きた場合に備え、年数回のシミュレーションを通じて対応できるように準備し、反省点や改善点を共有している。慢性疾患のある場合は、医師の指示に基づき保護者から薬を預かり、連絡先などを与薬依頼表に裏書きして薬とともに保管している。</li> </ul>	

A-1-(4) 食事	第三者評価結果
<p>【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の際には、食べる前に「いただきます」、食事が終わった後に「ごちそうさま」を言い合い、苦手な食べ物にも「おいしいね」と担任が声をかけながら、楽しい雰囲気になるよう工夫をしている。</li> <li>・食育を担当する保育士が「しょくいくこ」というキャラクターに扮装し、集会の中で食事のマナーや食品の栄養について分かりやすく伝え楽しく学べるように工夫をしている。継続的な取り組みによって、子どもたちの楽しみとなり、学んだことをやってみる姿も見られている。行事食やおやつなどを通じてメッセージを伝えたり、その日の食材や収穫した野菜を見せて変化を楽しめるようにしたり、いろいろな食べ方や味を提供するなどの取り組みもある。野菜の洗い方や調理法を体験させたり、地域の名所や食材の紹介など、調理員による食育も多く行われており、年長児はカレー作りなどの調理体験を行う機会も取り入れている。</li> <li>・家庭との連携では、「調理室宛ポスト」や空き保育室利用にて「乳児期の食事の大切さ」というテーマで保護者及び地域の子育て家庭に向けた講習を行い、「楽しく」「おいしく」という食事を一貫して行えるようにしている。</li> </ul>	
<p>【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課の栄養士が献立を作成し、定期的に巡回も行っている。毎月、栄養士の巡回日には、各クラスの担任や調理員との会話やメモを通じて、好評のメニューや残食について情報共有や意見交換を行っている。残食の対処方法や食材へ興味を持てるように、例えばゴボウの花などの写真を使用して、栄養の重要性を伝えるなどの取り組みを行っている。</li> <li>・調理員や栄養士がクラスを巡回して子どもと話す機会を設けたり、「おさかなクイズ」などを通して食事に興味を持てるようにしている。地元の食材を積極的に使用し、例えば江の島パスタや藤沢産の大豆や米などの使用もしている。残食への対応として2週目は、切り方や大きさを変えたりなどの工夫も行っている。</li> </ul>	

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
<p>【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたより帳や口頭での連絡に加えて、各クラスごとに幼児期の終わりまでに育てほしい姿（10の姿）を写真付きで掲示し、保育の取り組みについて詳細に説明して保護者の理解と協力が得られるよう努めている。懇談会や保育参観、アンケートなどを通じて得た保護者の意見はフィードバックを行い、園運営に反映させるようにしている。保育参観では、実際の活動内容や見どころを保護者に伝えることで、子どもたちの成長を感じられるよう配慮しており、例えば、友だちとの交流や待つことの大切さなど、子どもたちの発達に対する関心を深められる要素を紹介している。</li> <li>・毎月の保育内容を掲示し、月の中間あたりでは進捗状況を記入して保護者に伝えている。日々の保育活動はホワイトボードに写真とともに掲示し、保護者にも見てもらえるようにしている。情報を簡潔にまとめるように心がけており、クラスからのお願いや重要なお知らせなどもホワイトボードを通じて伝達し、個別の連絡については丁寧にノートで伝えるなど、保護者のニーズに合わせた配慮をしている。保護者への情報発信における工夫については継続的な課題として捉えている。</li> </ul>	

A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
<p>【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談には積極的に対応し、空き部屋を利用して面談を行ったり、悩みや不安がある場合は面談を提案するなどの配慮をしており、相談内容は個別記録に特記し、次年度にも内容を確認できるようにしている。相談を受けた場合、不安な状況がある場合は園長や主任に相談し、アドバイスをすることができる体制であり、職員間で情報共有を図り、園全体でサポートできるようにしている。</li> <li>・子どもたちの行動や様子を観察し、環境や対応を柔軟に変えるなど、その日の状況に合わせた対応を心がけている。食具の持ち方や交通安全などの大事な情報を、写真やイラストを使って掲示することで、各年齢の子どもたちに合わせた情報提供に取り組んでいる。</li> <li>・保護者との連絡はノートを通じて行き迅速に対応するよう心がけている。大切な情報は余裕を持って伝え、前日にも再確認するなど、複数回にわたって伝達するようにしている。遠足や運動会などの重要な行事に関しては手紙を配布し、確実に確認してもらえるように配慮している。</li> </ul>	
<p>【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時には視診によって子どもの様子について把握できるように努めており、気になることがあれば保護者に確認を行っている。また、子どもの会話や体調に気になる点があれば報告や記録を残している。家庭での虐待等権利侵害の疑いがある場合、保護者とのやり取りの履歴を残し、事象の経緯が把握しやすいようにしている。見守りが必要な家庭については、定期的にまたは必要な都度、家庭課との連絡を取り合い、情報を共有している。</li> <li>・職員が人権について意識を高めるため、人権チェックリストを活用しグループ討議を行ったり、eラーニングや職場内研修を通じて学び、個々の意識向上につなげる取り組みを行っている。年間の人権目標を設定し、年度の初めにそれぞれの職員が目標を確認している。</li> </ul>	

## A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
<p>【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員縮小に伴いクラス数の減少から、会議に参加できる職員の人数が限られているため、会議の行い方を工夫している。クラスの話し合い、幼児の話し合い、主査の話し合い、園内研修などの目的別の話し合いの機会を定期的に設けている。この取り組みにより、個々の見解を活かすための付箋方式など、工夫を凝らしながら意見交換の場を充実させている。</li> <li>・会議では、保育の振り返りを行い、課題に取り組んだ方法や子どもの気持ちの変化、良かった点などを共有し、一人ひとりの子どもの成長を把握できるようにしている。研修や学びの場で得た知識を会議などで共有し、保育方法や概念の共有を行い、学び合いや知識の向上に努めている。</li> </ul>	